

令和3年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 歯科衛生学科

令和3年度学校関係者評価委員

■保護者

秋次 雅代様(3年保護者)

■企業関係者

今村 陽一郎先生(静岡歯科医師会)

■他校関係者

根木 規予子先生(中央歯科衛生士調理製菓専門学校教員)

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】

平均

	平均
1 教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2 教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3 教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4 組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5 鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

【現状の問題点】

全体的に高評価であったが設問3についてはより浸透に努めていく必要がある。

【改善のための方策】

現在「教育理念は教室に掲示(A3)、教育目標は学生クレドに記載されています。両方とも「教室掲示+学生クレド記載」されていると良いと思われます。また、教室掲示は大きく印刷できると、誰の眼にも留まり好ましいと考えます。

【関係者評価】

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCIは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に改善されてきており問題はない。今後も改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
本年度よりBSCを積極的に取り入れるよう学科で取り組んでいる。インフォクリップ導入により業務効率化が達成したとは言い難い状況だと思われま 良いところはありますが、二重の作業を行うこともある等、一長一短。使いなが 本年度は各部署を共有し、その業務の負担を減らすことに努めたい		
【関係者評価】		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に高評価となった。設問23については多忙の中で難しいところであるができるだけ改善していきたい。		
【改善のための方策】		
十分に余裕はないが、限られた時間の中で最善を尽くしている。十分に余裕をもって教育行事の準備をするための、時間を確保することは厳しい。時間をつくるためには、業務の効率化を図る必要があるが、よりよい教育と考えたとき、常に足し算になっていく傾向があると思われ、何かを省くこと、止めることの話し合いの場も常に持つていく必要がある。		
【関係者評価】		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
高評価であり問題はない		
【改善のための方策】		
継続していく。		
【関係者評価】		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
高評価であり特に問題はない。		
【改善のための方策】		
<p>随時対応できていると感じる。</p> <p>防犯に関しては、次年度より夜間の施錠システムが導入され期待している。</p> <p>退学者対策については教職員研修会時の他校での意見交換が非常に参考になっている。</p>		
【関係者評価】		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
【現状の問題点】		
老朽化の割り出しと計画的整備に努めていきたい。		
【改善のための方策】		
<p>器機の購入に関して長期的な計画を行っていく。 古くなっている箇所の補修は随時必要だと感じる。(カーテンなど) 学生ロッカーに関しては小さく改善をしていきたいと学校に希望していきたい。</p>		
【関係者評価】		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	B
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
募集活動は順調であった。		
【改善のための方策】		
<p>募集は順調であったが、指定校推薦の学生の意思確認を明確にする必要があると感じる。 オープンキャンパスの回数は妥当なものであるのか。広報担当者からの出願情報の提供は非常に参考となるが、〇〇時のコミュニケーションをもっと密にし、事前に情報を取り込みたい。</p>		
【関係者評価】		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・ 中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・ 学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はない。		
【改善のための方策】		
予算内での執行ができていると捉えています。		
【関係者評価】		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題はない。女性が多いのでハラスメントには今後も注意して行きたい。		
【改善のための方策】		
<p>学生も教員も女性が多いので、働きやすい職場環境の整備がより向上すると良いと思う。</p> <p>ハラスメントは、整備されているつもりでも「気づけていないことがあるかもしれない」という感覚を持ち続けていたい。外部（非常勤講師や臨床実習指導者）への周知、コミュニケーション、相互理解を図るよう努めていきたい。</p>		
【関係者評価】		

